

# 田辺三菱製薬株式会社

## 2014年度第3四半期 決算概要

(2014年4月1日～2014年12月31日)

2015年2月2日

執行役員 経営管理部長

登林 浩司



田辺三菱製薬

売上高

3,198億円（対前年同期比 -1.1%）

営業利益

636億円（対前年同期比 +14.5%）

四半期純利益

483億円（対前年同期比 +10.1%）

## トピックス

- ◆ ジレニア、インヴォカナの伸長などにより、  
当社ロイヤリティ収入は、対前年同期比69%増の449億円に拡大
- ◆ ラジカットについて、ALSに関する適応追加を申請（10月）
- ◆ レミケードについて、特殊型ベーチェット病に関する適応追加を申請（10月）
- ◆ 田辺三菱製薬工場(株)鹿島工場譲渡に関する最終契約を沢井製薬(株)と締結（11月）
- ◆ 米国展開の加速化に向けた米国子会社の再編を完了（12月）
- ◆ 田辺三菱製薬工場(株)吉富工場内に新製剤棟を着工（1月）
- ◆ アジアでの事業拡大の基盤として、  
中国天津、インドネシアにて、それぞれ新製剤棟を竣工（1月）

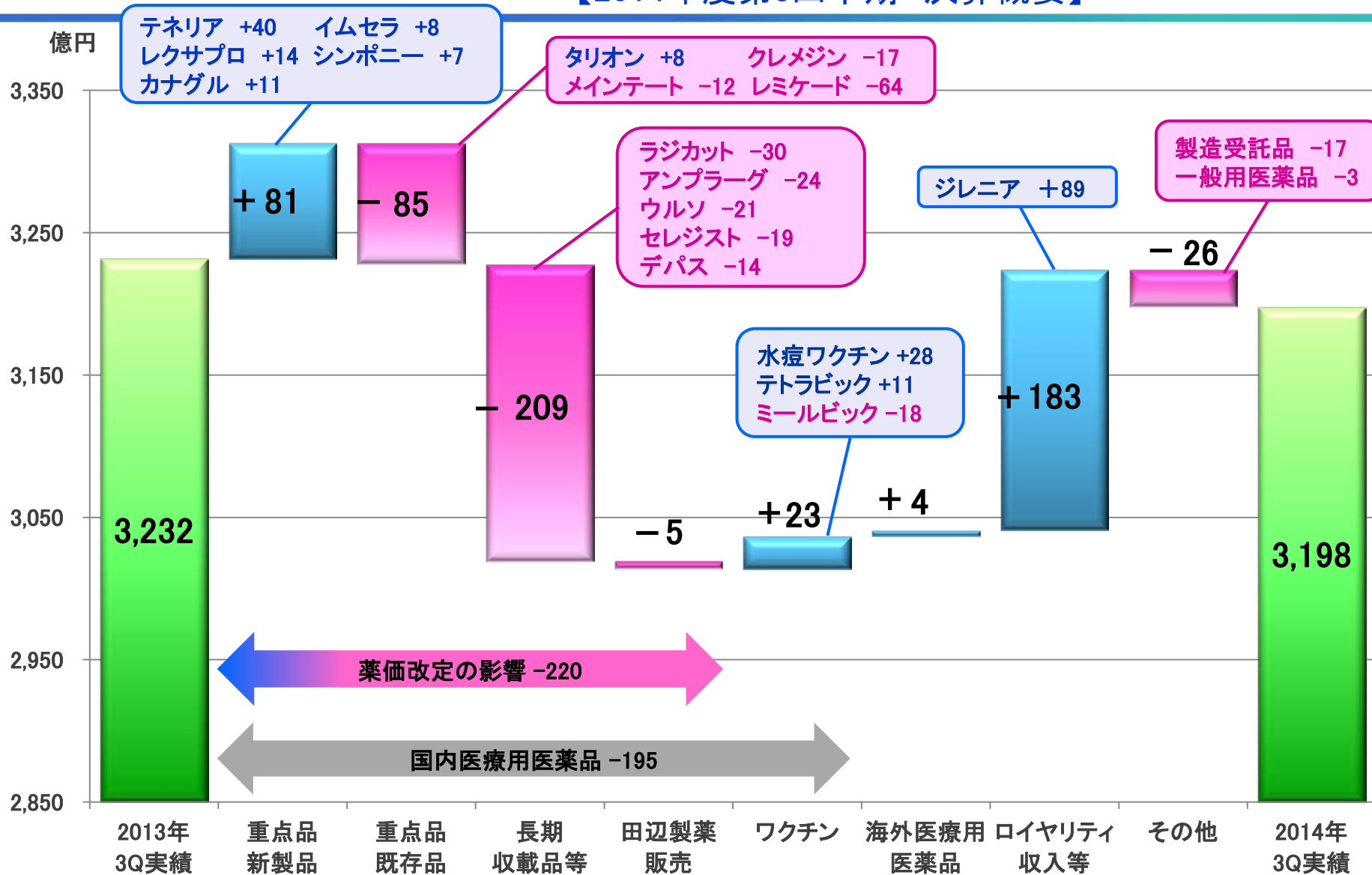
# 2014年度第3四半期 決算概要

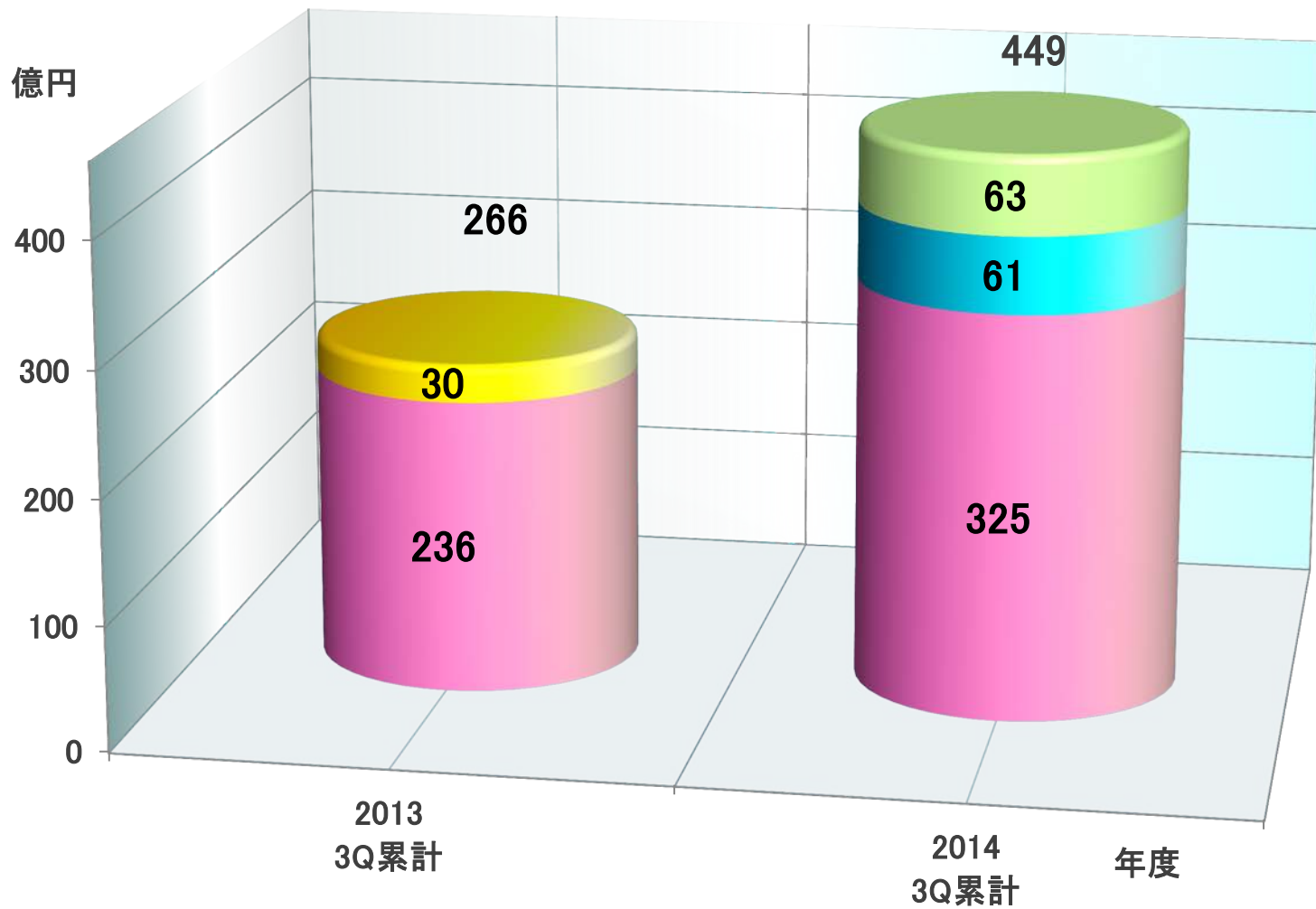
	2014年度	2013年度	増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,198	3,232	-34	-1.1	4,060	78.8
売上原価	1,280	1,330	-49	-3.7	1,640	78.1
売上原価率	40.0%	41.1%			40.4%	
売上総利益	1,918	1,902	+15	+0.8	2,420	79.2
販管費	1,282	1,347	-65	-4.9	1,820	70.4
営業利益	636	555	+81	+14.5	600	106.0
経常利益	641	578	+63	+10.9	615	104.2
四半期純利益	483	439	+44	+10.1	405	119.2

※通期予想：2014年度第2四半期決算発表時(2014年10月29日)公表

# 売上高の増減

## 【2014年度第3四半期 決算概要】





■ ジレニア   
 ■ ※インヴォカナ   
 ■ その他(インヴォカナ含む)   
 ■ その他

※単剤および合剤の合計

	2014年度	2013年度	増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,198	3,232	-34	-1.1	4,060	78.8
売上原価	1,280	1,330	-49	-3.7	1,640	78.1
売上原価率	40.0%	41.1%			40.4%	
売上総利益	1,918	1,902	+15	+0.8	2,420	79.2
販管費	1,282	1,347	-65	-4.9	1,820	70.4
研究開発費	481	514	-33	-6.4	725	66.3
人件費	348	362	-14	-4.0	462	75.3
のれん償却額	81	79	+2	+2.9	108	75.0
その他	372	392	-20	-5.2	525	70.8
営業利益	636	555	+81	+14.5	600	106.0

※通期予想:2014年度第2四半期決算発表時(2014年10月29日)公表

# 営業外損益・特別損益

【2014年度第3四半期 決算概要】

	2014年度		2013年度		増減		※通期予想	達成率
	億円	億円	億円	億円	億円	%	億円	%
営業利益	636	555	+81	+14.5	600	106.0		
営業外損益	5	23	-18	-77.8	15	33.3		
経常利益	641	578	+63	+10.9	615	104.2		
特別利益	136	119						
固定資産売却益	119	-						
投資有価証券売却益	11	-						
仲裁裁定に伴う特別利益	-	110						
段階取得に係わる差益	-	9						
関係会社株式売却益	6	-						
特別損失	78	19						
構造改革費用	66	-						
減損損失	10	14						
投資有価証券評価損	1	5						
その他	1	1						
四半期純利益	483	439	+44	+10.1	405	119.2		

※通期予想：2014年度第2四半期決算発表時（2014年10月29日）公表

# 開発パイプラインの進捗

A decorative horizontal bar with a blue-to-teal gradient, starting as a solid blue bar on the left and fading into a light teal gradient on the right.



# 開発パイプラインの進捗状況

(2014年10月29日以降の進捗)

New Value Creation



	治験コード/製品名	機序(予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認	
自社開発	ラジカット	フリーラジカル消去剤 (ALS)	日本						
	レミケード	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体(特殊型ベーチェット病)	日本						
導出	MP-513 (導出先:ハンドク)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	韓国						
	Y-803 (導出先:メルク*)	BRD阻害剤 (固形がん)	欧州・カナダ						

\* :2014年12月、メルクが導出先のオンコエシックスを買収

# *New **Value** Creation*

「新たな価値を創造しつづける企業」へ

# 補足資料



# セグメント別売上高

	2014年度	2013年度	増減		※通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上高	3,198	3,232	-34	-1.1	4,060	78.8
(うち海外売上高)	(562)	(433)	(+130)	(+29.9)	(703)	(80.0)
医薬品事業	3,194	3,223	-28	-0.9	4,056	78.8
国内医療用医薬品	2,520	2,715	-195	-7.2	3,225	78.1
ロイヤリティ収入等	449	266	+183	+68.9	536	83.8
海外医療用医薬品	168	163	+4	+2.7	220	76.5
一般用医薬品	32	35	-3	-9.7	43	74.2
製造受託品	26	43	-17	-40.3	33	78.0
その他	3	9	-6	-64.1	4	83.5

※通期予想:2014年度第2四半期決算発表時(2014年10月29日)公表

# 国内医療用医薬品 重点品売上高

【2014年度第3四半期 補足資料】

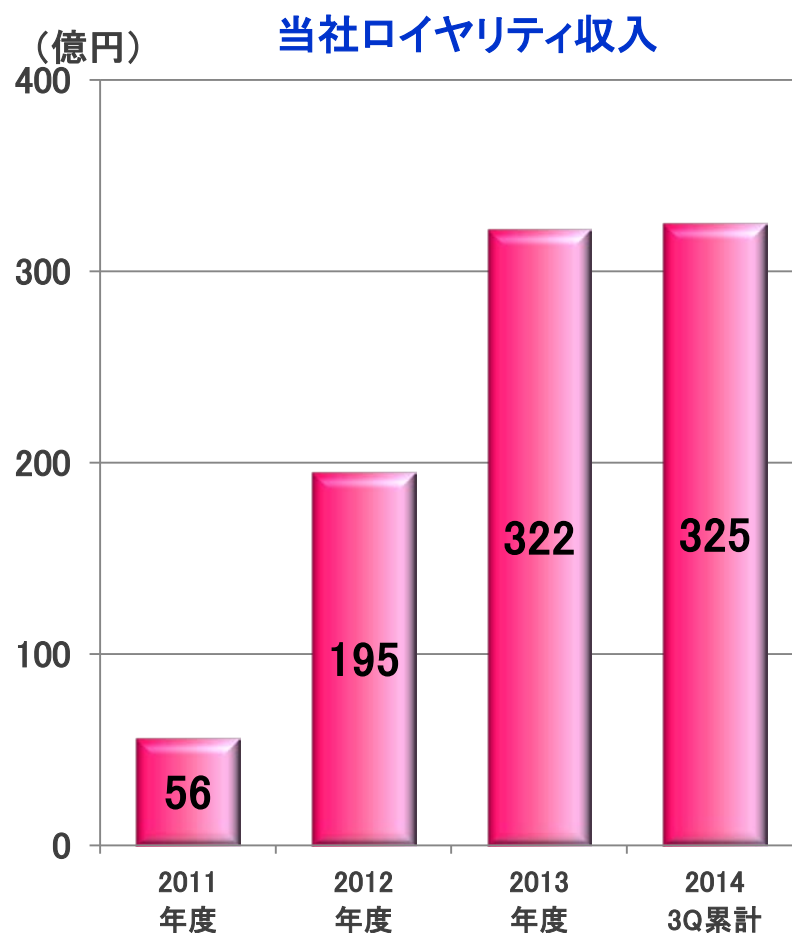
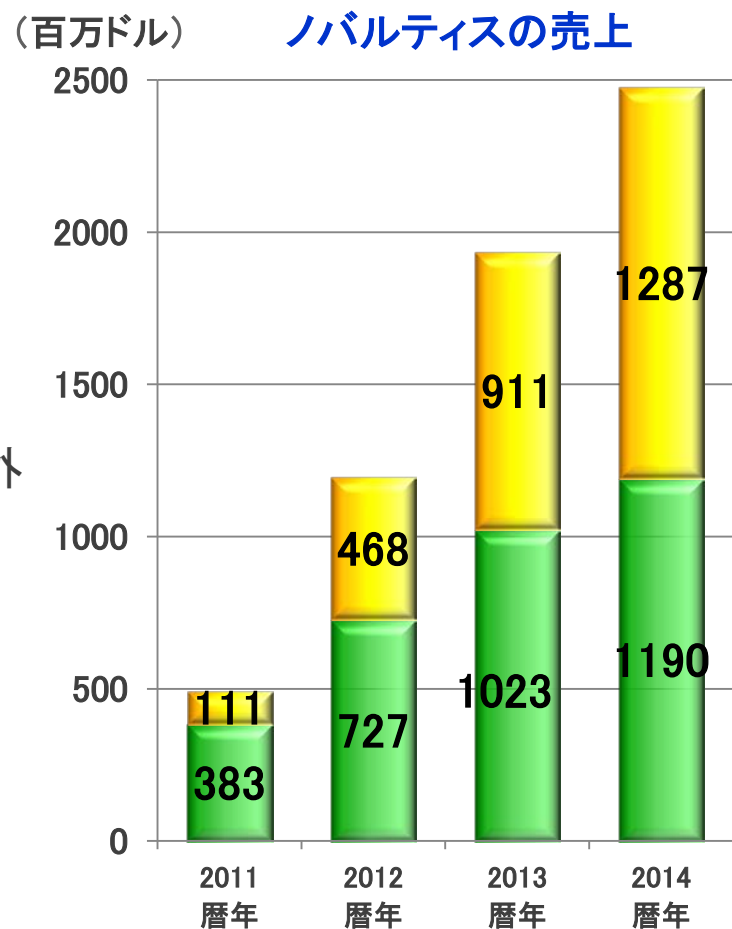


	2014年度		2013年度		増減		※通期予想	進捗率
	億円	億円	億円	億円	%	億円	%	
シンポニー	80	72	+7	+10.2		115	69.0	
レクサプロ	61	47	+14	+30.2		80	76.7	
テネリア	46	5	+40	+748.6		65	70.7	
イムセラ	24	16	+8	+47.8		35	69.8	
カナグル	11	-	+11	-		-	-	
<b>新製品合計①</b>	<b>223</b>	<b>141</b>	<b>+81</b>	<b>+57.6</b>		<b>* 295</b>	<b>* 71.6</b>	
レミケード	545	609	-64	-10.5		703	77.5	
メインテート	109	122	-12	-9.9		145	75.8	
タリオン	103	95	+8	+8.8		164	63.1	
クレメジン	82	99	-17	-17.0		105	78.3	
<b>既存品合計②</b>	<b>840</b>	<b>925</b>	<b>-85</b>	<b>-9.2</b>		<b>1,117</b>	<b>75.2</b>	
テトラビック	57	46	+11	+24.7		71	80.5	
水痘ワクチン	54	26	+28	+106.3		52	103.6	
<b>ワクチン合計③</b>	<b>111</b>	<b>72</b>	<b>+39</b>	<b>+54.5</b>		<b>123</b>	<b>90.3</b>	
<b>重点品合計①+②+③</b>	<b>1,174</b>	<b>1,138</b>	<b>+36</b>	<b>+3.1</b>		<b>* 1,535</b>	<b>* 75.7</b>	

※通期予想:2014年度第2四半期決算発表時(2014年10月29日)公表

\* カナグルを除く

- ◆ ノバルティスの2014年の売上高は2,477百万ドル(前年同期比+28%)
- ◆ 当社第3四半期累計のロイヤリティ収入は325億円



## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。